



2012 年 12 月 26 日

## 平成 25 年 1 月からの液体ヘリウム供給について

### ー平成 24 年度第 4 四半期（H25.1-3 月）の見通しー

11 月 26 日発行の「東北大学極低温科学センターだより号外」でもお知らせしました通り、現在、米国の輸出制限により、日本国内での液体ヘリウムおよびガスヘリウムの調達が難しくなっております。12 月 26 日現在、その状況はますます厳しくなっており、極低温科学センターにおいてもヘリウム（ガス・液体の両方）の入手は極めて困難で、かつ今後の購入の見通しについても不確定な状況にあります。このため、

### 液体ヘリウムの供給制限および停止

を視野に入れた、供給計画を立てざるを得ない段階に入ってきました。今後、ヘリウムの調達が完全に不可能になった場合、

- ・ H25 年 1 月 31 日まで：通常供給（例年並みの供給量の場合）
- ・ H25 年 2 月 1 日以降：供給停止を視野に入れた供給制限の実施

という計画を立てております（1 月のヘリウム利用が急増すると 2 月以降の供給制限を前倒しして行う可能性もあります）。ユーザーの皆さまには、この状況を鑑みて、駆け込み実験等の無理な実験計画を立てないよう、また長期間連続運転されている装置をお持ちの場合は、装置を止める計画もご検討いただくようお願い申し上げます。

2 月以降の詳細な供給計画につきましては見通しが立ち次第、速やかにお知らせいたしますが、回収率の低い（又は無回収）の研究室につきましては、個別に早期の使用停止要請をさせていただく可能性もあることを御了承下さい。

引き続き、**液体ヘリウムを大量に使用する実験の延期、日常での液体ヘリウム利用の節約と回収率のさらなる向上**にご協力下さい（特に**回収率の向上**が 2 月以降の供給計画に大きな影響を与えます。回収ラインの漏れ探し用に簡易ヘリウムリークディテクターの貸し出しも行っていますのでご利用下さい）。

この件に関する問い合わせ先

青葉山地区： helium@mail.clts.tohoku.ac.jp

片平地区： ltcenter@imr.tohoku.ac.jp